

令和 8 年度

渋川市教育行政方針

教育・文化・スポーツの振興



渋川市教育委員会

基 本 理 念

渋川市教育委員会は、幅広い知性を身に付け、豊かな徳性と社会を生き抜く創造力を培い、心身ともに健康で活力ある人間の育成を目指して教育行政を推進します。

また、郷土を愛するとともに、学び合い、励まし合い、ともに生きる「教育都市渋川」の教育の振興に努めます。

基 本 方 針

- 1 子どもたちが学ぶ楽しさや喜びを味わい、国際的視野に立って共生社会をたくましく生きる力を身に付けるための、魅力ある学校教育の充実
- 2 生涯にわたって主体的に学び、より豊かに生き生きと暮らすための、活力ある生涯学習の充実
- 3 郷土の伝統・文化を学び、ふるさと渋川への愛着と誇りを醸成するための、文化財の保護と活用の充実
- 4 一市民一スポーツを目標とする生涯スポーツの充実

目次

	ページ
基本方針Ⅰ 【学校教育の充実】	
1 信頼される園・学校経営の推進	1
2 「確かな学力」の向上	2
3 「豊かなこころ」の育成	3
4 「すこやかな体」の育成	4
5 多様な教育的ニーズ等に対応する教育活動の充実	5
6 小中学校適正規模・適正配置の推進	7
7 学校施設の整備・充実及び長寿命化の推進	7
8 児童生徒の通学支援	8
9 学校給食の充実	8
基本方針Ⅱ 【生涯学習の推進】	
1 自ら学ぶ意欲を培う意識啓発と市民参加の促進	10
2 文化・芸術に親しむ機会の充実と活動の振興	11
3 青少年健全育成の推進	11
4 学校を核とした地域づくりの推進	12
5 共生社会実現に向けた人権教育の推進	12
6 公民館活動の推進	13
7 図書館運営の推進	14
8 美術館事業の推進	15
9 文学館事業の推進	15
基本方針Ⅲ 【文化財の保護と活用】	
1 文化財の保存・管理の推進	17
2 文化財の活用と整備の推進	17
3 伝統文化の保存・継承活動の支援	17
4 自主活動団体の育成・支援	18
基本方針Ⅳ 【スポーツと健康づくりの推進】	
1 子どものスポーツ機会の充実と体力の向上	19
2 市民一人ひとりのスポーツ機会の創出と健康増進	20
3 競技スポーツの推進・競技力の向上	20
4 スポーツ環境の整備	20
5 スポーツによる交流機会の創出	21

「指標」について

渋川市教育振興大綱の期間（令和5年度から令和10年度まで）において、教育行政方針の重点施策の達成度を把握するため現状値と令和10年度の目標値を定めました。（指標がない施策もあります。）

◆指標

指標名	基準 (R 5年度)	実績値 (R 7年度)	目標値 (R 8年度)	目標値 (R10年度)

基本方針Ⅰ 学校教育の充実

「確かな学力」、「豊かなこころ」、「すこやかな体」の調和を図り、一人一人が学ぶ楽しさや喜びを味わい、国際的視野に立って共生社会をたくましく生きることができる力を育てます。

また、家庭や地域との連携を強化し、地域の特色・文化を活かした魅力ある園・学校づくりを推進し、ふるさと渋川を愛し、互いを尊重し、思いやりの心をもった子どもたちの育成に努めます。

1 信頼される園・学校経営の推進

- (1) 園・学校経営構想の充実と全教職員が経営に参画する体制の確立
 - ア 学校評価等により把握した課題に基づいた園・学校経営方針の具体化と園・校長のリーダーシップのもと、全教職員が園・学校経営に参画する体制の確立
 - イ 働き方改革の一層の推進、組織的な学校経営及び指導の促進
 - ウ 規律確保行動計画の点検評価及び実効性のある服務規律委員会の計画的な実施
 - エ P・D・C・A（計画・実施・評価・改善）のマネジメントサイクルを生かした適切な教育課程の編成・実施
- (2) 教職員の指導力向上とメンタルヘルスの保持
 - ア 教職員の職能成長を促す人事評価制度の活用と保育や授業の改善を目指した実践的な園・校内研修の充実による教職員の指導力の向上
 - イ 同僚性の構築と働き方改革の趣旨に基づく職場環境の整備
- (3) 生徒指導及び安全管理の徹底・充実
 - ア いじめ・不登校の未然防止及び早期発見・早期対応に向けた取組の強化と支援の充実
 - イ 家庭・地域等と連携した登下校の安全対策の充実と危険予測・回避能力育成等を重点化した安全教育の徹底・充実
- (4) 地域とともにある学校づくりの推進と積極的な情報発信
 - ア 学校運営協議会を核とした学校・家庭・地域が連携・協働する学校づくり、コミュニティ・スクールの推進
 - イ 家庭や地域、自治会や公民館等の関係機関との連携強化により、学校・家庭・地域が一体となった子育て環境の整備
 - ウ 園・学校の経営方針や学校・家庭・地域の「育てたい子どもの姿」の

具現化に向けた取組についての積極的な情報発信および情報共有

(5) 「共同学校事務室」の設置及び推進

ア 法令化による設置により、事務の共同処理の適正かつ円滑な執行と事務処理体制の確立・強化

イ O J Tによる事務職員の職能成長と、積極的な学校経営参画をめざした共同事務の工夫・改善及び充実

(6) 幼稚園教育の充実

ア 幼児の発達の過程を見通し、幼児の生活の連続性、季節の変化等を考慮し、幼児が自己決定したり主体性を発揮したりすることができる場を設定した指導計画の作成

イ 架け橋期のカリキュラム開発に向けた幼こ保小の連携とカリキュラム・マネジメント

ウ 園児数の減少を踏まえた様々な体験の機会の創出や、幼児の興味・関心や発達段階に基づく環境の構成と、幼児が自己肯定感や他者への信頼感、自己有能感をもてる教師の援助の工夫

エ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた家庭・地域との連携及び幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続

◆指標

指標名	基準 (R 5年度)	実績値 (R 7年度)	目標値 (R 8年度)	目標値 (R10年度)
「学校に行くのは楽しい」と答えた児童生徒の割合（小6・中3） （全国学力・学習状況調査）	81.9%	小6	小6	小6
		86.2%	86.8%	90.0%
		中3	中3	中3
		86.7%	86.8%	90.0%

2 「確かな学力」の向上

(1) 「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善

ア 学ぶ楽しさや喜びを実感できる体験的な学習を重視し、自ら問いを見だし各教科等の見方・考え方を働かせながら解決しようとする問題解決的な学習過程の工夫

イ 身に付けた知識や技能を活用して課題を解決する学習活動の工夫

ウ 友だちと考えを聴き合い、教え合い、学び合う場の設定の工夫

エ 地域の教育力の積極的な活用と学校の取組についての情報発信

(2) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

ア ICTの効果的な活用等により、子どもたちが自分に合った学び方を

選択したり、友だちと考えを共有したりして、幅広い学びにつなげるための環境の構成

イ 個々の児童生徒の特性や興味・関心など、子ども一人一人の思いに応じた多様な学びの推奨

(3) 思考力・判断力・表現力等の育成

ア 教師が子どもの意欲や目的意識を高めるための支援をしながら、学びの姿を適切に見取り、自らの指導に生かす、育成すべき資質・能力を明確にした授業づくり

イ 思考過程を表現させたり比較・検討させたりする言語活動の充実

ウ 子どもたちが自分の学びの深まりを自覚し、成長を実感したり、学びのつながりを生かしたりできる振り返りの工夫

◆指標

指標名	基準 (R 5年度)	実績値 (R 7年度)	目標値 (R 8年度)	目標値 (R 10年度)
「国語、算数・数学の勉強は好きである」と回答した児童生徒の割合(小6・中3) (全国学力・学習状況調査)	58.1%	小6	小6	小6
		60.3%	65.2%	70.0%
		中3	中3	中3
		59.2%	65.2%	70.0%

3 「豊かなこころ」の育成

(1) 人権教育の充実

ア 全体計画と年間指導計画の見直し・改善、人権感覚チェックリストの活用等による教職員の人権感覚の高揚及び、言語環境や教室環境の整備

イ 常時指導の充実による、互いを大切にし、認め合い、人と関わる楽しさが高まる取組の推進と、他者の痛みがわかる思いやりと優しい心の育成

ウ 子ども同士が互いを大切にし認め合い、自己有用感を高められる温かい園・学校・学級づくりと学ぶ楽しさや喜びを味わえる授業の実践

(2) 生徒指導の充実

ア 一人一人が個性的な存在として尊重され、子どもが安心して自己を表現できる学校・学級風土の醸成と、子ども及び保護者との信頼関係に基づく積極的で先手型の生徒指導の推進

イ 不登校の未然防止や早期対応に向け、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、ウォームアップティーチャー、教育研究所、校

内教育支援センター等の効果的な活用と関係機関との情報共有と様々な立場からの支援による組織的・継続的な指導体制の確立及び子どもたちの居場所となりうる魅力ある学校・学級づくりの推進

ウ 法の定義に則り積極的ないじめの認知、継続的な経過観察と慎重な解消の判断を進めつつ、いじめ防止基本方針のもと、関係機関と連携した生徒指導体制の確立・見直しと子どもの発達を支え、いじめを予防する生徒指導の推進

(3) 道徳教育の充実

ア 全体計画と年間指導計画に基づく、学校の教育活動全体を通じた計画的・発展的な道徳教育の推進と道徳教育の要としての特別の教科道徳の充実

イ 家庭、地域と連携した道徳教育を推進するための協力体制の整備

(4) 特別活動の充実

ア 学級や学校において自己有用感を育み高める生活づくりの推進

イ 全体計画及び各活動・学校行事の年間指導計画に沿った、組織的・計画的な取組及び児童生徒の自発的・自治的な活動の推進

◆指標

指標名	基準 (R 5 年度)	実績値 (R 7 年度)	目標値 (R 8 年度)	目標値 (R 10年度)
「自分にはよいところがあると思う」と回答した児童生徒の割合 (小6・中3) (全国学力・学習状況調査)	83.6%	小6 88.8%	小6 88.8%	小6 90.0%
		中3 85.8%	中3 87.4%	中3 90.0%

4 「すこやかな体」の育成

(1) 体力の向上

ア 体力テストのデジタル入力結果から見える現在の体力を踏まえ、自ら運動に親しむ運動好きで活力のある児童・生徒の育成及び、体を動かす楽しさや心地よさを味わえる授業の工夫

イ 仲間と積極的に関わり課題解決を行うための学習過程の工夫及び、運動量を十分に確保し体力の向上につながる指導の充実

(2) 健康教育の充実

ア 自己の健康に関心をもち、様々な健康課題と向き合い、健康の大切さを認識し、主体的、協働的に活動できる児童・生徒の育成

イ 食育指導の充実や生活習慣病の未然防止のために、心身ともに健康な児童生徒の育成及び、望ましい生活習慣の定着を図る取組の充実

(3) 安全教育の充実

ア 幼児児童生徒や学校園、地域の実態及び幼児児童生徒の発達の段階を考慮した安全管理の徹底及び安全教育の推進

イ 子どもたちが日常生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、生涯を通じて安全な生活を送るための資質・能力の育成

◆指標

指標名	基準 (R 5年度)	実績値 (R 7年度)	目標値 (R 8年度)	目標値 (R 10年度)
「運動やスポーツをすることは好きである」と回答した児童生徒の割合(小5、中2) (全国体力・運動能力、運動習慣等調査)	87.1%	小5 90.5%	小5 90.5%	小5 92.0%
		中2 87.4%	中2 90.0%	中2 92.0%

5 多様な教育的ニーズ等に対応する教育活動の充実

(1) 特別支援教育の充実

ア 全ての教職員の特別支援教育に対する理解促進と、特別支援教育コーディネーターや児童生徒を指導する教員の専門性及び指導力の向上

イ 個別の支援を必要とする児童生徒一人一人の教育的ニーズに対応した連続性のある多様で柔軟な学びの場の整備と、通級指導と通常学級における指導・支援の連携・充実、校内支援体制の連携強化

ウ 交流及び共同学習の充実と継続的な実施、及び、合理的配慮による支援を適切に行い、多様な個性を受け入れ、誰もが尊重される持続可能な共生社会の基盤を築くインクルーシブ教育の推進

エ 保育所・認定こども園・幼稚園・小学校・中学校及び福祉・医療等の関係機関や専門家等と連携した、切れ目のない支援体制の構築

(2) ICTを効果的に活用した教育活動の推進

ア 学ぶ楽しさを味わえる「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善とICTの効果的な活用の推進

イ 家庭での端末の活用を推進するとともに児童生徒が自らの学びを調整し、自分の力で主体的に探究、交流等を行うための情報活用能力(情報モラルを含む)を育成する学習活動の推進

ウ ICTの活用により、誰一人取り残すことのない一人一人に応じた指導や支援の実施と、一人一台端末や大型電子黒板等を活用し、ICTを授業や校務で効果的に活用するための研修等の推進

(3) 教育研究所の充実

ア 学ぶ楽しさを味わえる「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善・教職員の資質向上を目指した研究・研修の充実、教育相談技術向上の推進及び社会科副読本「第一版みんなの渋川」に係る指導資料等の作成

イ 園・学校・関係機関との連携を図った教育相談事業の充実と教育支援センター「かけはし」教室の充実

(4) 外国につながる児童生徒に対する教育・支援の充実

ア 日本語指導が必要な児童生徒に対し、実態に応じた計画的な取り出し及び入り込み指導

イ 市立学校への就学を希望する児童生徒と保護者への適切な情報提供及び受入体制の整備

(5) 現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するために教科横断的に取り組む多様な教育活動の充実

ア ふるさと渋川のよさを知り、渋川を誇りに思うところを育てるふるさと学習について総合的な学習の時間等での実施

イ 平和の大切さを実感し、互いを尊重し、他者を思いやり、平和を希求する態度を育成する平和学習

ウ 国際的視野に立ち、積極的に異文化と関わり合い、異文化を理解するためのコミュニケーション能力を高める外国語教育

エ 外国語に触れる楽しさや想いや考えが通じる喜びを体験できる、小学校低学年からの外国語教育の推進

オ 夢と志をもち、目標を定めて着実に歩みを進めていけるよう、自己実現を図る力を育むキャリア教育

カ 共生社会の形成者として必要な資質や実践力を育む福祉・ボランティア教育

キ 読書を楽しんだり、学校図書で学習に役立てたりする子どもを育てる学校図書館教育

ク 環境問題について主体的に考え行動できる態度や実践力を育む環境教育

ケ 音楽、絵画、古典芸能など文化・芸術への触れ合いを通して豊かな感性を育成する情操教育

コ 危険予測、危険回避能力を高め、防犯・防災（野生動物等）・交通安全

全等の観点から自他の命、安全を自ら守る態度を育成する安全教育

(6) 部活動の地域連携と段階的な地域展開

- ア 渋川市スポーツ協会、しぶかわスポーツクラブ、渋川市スポーツ少年団、渋川市中学校体育連盟、小学校体育研究会、PTA連絡協議会、市長部局関係各課及び渋川市教育委員会による推進体制の整備
- イ 学校部活動の教育的意義を継承しつつ、生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる環境の整備を目的とした推進委員会の開催
- ウ 土日・休日の部活動の段階的な地域展開の推進
- エ 先進事例や補助事業等を活用した積極的な試行

(7) 各種指定等研究の推進・充実

- ア 文部科学省及び群馬県教育委員会
 - ・教育課程柔軟化サキドリ研究校事業 兼 学校エージェンシーを発揮する授業改善プロジェクト
(橘小学校：令和8・9年度)
- イ 渋川市教育委員会
 - ・幼稚園教育実践研究会（北橘幼稚園）
 - ・小学校教育実践研究会（渋川南小学校・渋川西小学校）
 - ・中学校教育実践研究会（古巻中学校）

6 小中学校適正規模・適正配置の推進

少子高齢化の進展や社会情勢の変化が激しい現代社会情勢においても、将来にわたって継続的に児童生徒がより良い教育を受けられる環境を整備するため、小中学校の適正規模・適正配置について全市的な視点で検討します。

令和8年度は「渋川市立小中学校適正規模・適性配置基本方針」の内容等について説明会等による情報発信を行うとともに、保護者・地域住民等、多様な関係者との対話の中で様々な意見を伺いながら、地域とともに学校の適正規模化の方策を検討していきます。

地区別の検討結果は、外部有識者の意見を踏まえた全体調整を経て、最終的に「渋川市立小中学校適正規模・適性配置基本計画」として整理し、本市にとってのあるべき学校像の実現に向けた方向性を決定することとします。

7 学校施設の整備・充実及び長寿命化の推進

学校施設の安全性、機能性を確保し、児童生徒にとって安心で快適な教育施設を整備するため、修繕を継続的に実施します。

また、空調設備の整備やトイレの洋式化など大規模改修工事は、予算が膨大となることから、小中学校適正規模・適正配置の検討を踏まえ、財政負担の平準化を図りながら、計画的に施設の長寿命化を進めます。

(1) 小学校施設管理事業

児童が学校生活を安全かつ円滑に過ごせるように施設老朽箇所の修繕を実施

- ・長尾小学校プール防水工事 ほか

(2) 中学校施設管理事業

生徒が学校生活を安全かつ円滑に過ごせるように施設老朽箇所の修繕を実施

- ・渋川北中学校プール解体工事 ほか

8 児童生徒の通学支援

遠距離を通学する児童生徒の通学の利便のため、通学バス運行及び路線バス補助金による通学支援をし、児童生徒の教育の機会均等を図ります。

(1) 通学バス運行業務

市内18路線を運行

(2) 路線バス等利用における通学費の補助

- ア 定められた停留所を利用し路線バスで合理的に通学する渋川西小学校、渋川北中学校及び渋川中学校の児童生徒が対象
- イ 最も合理的に通学できる公共交通機関を利用して通学する小規模特認校（伊香保小学校及び小野上小学校）の児童が対象

9 学校給食の充実

児童生徒に安全安心な学校給食を安定して提供できるよう、適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ることと食に関する正しい理解と適切な判断力を養うことなどを目標とする「学校給食法」に基づく事業を推進し、学校給食の充実を図ります。

(1) 学校給食調理場の運営

南部学校給食共同調理場及び東部学校給食共同調理場の調理配送等業務委託において、受注事業者と定期的に実施状況を確認し、適正かつ円滑な運営

- ・令和9年度からの新たな契約に向けた適切な事業者選定

(2) 地産地消・食育の推進

ア 渋川市産、群馬県産食材の積極的な使用

イ 地場産食材や郷土料理を活用した食育の推進

(3) アレルギー対応食の提供

県が作成した「学校における食物アレルギー対応マニュアル」及び「渋川市学校給食アレルギー対応食提供マニュアル」に基づき、食物アレルギーを有する児童生徒の実態を総合的に判断し、学校給食におけるアレルギー対応食を提供

基本方針Ⅱ 生涯学習の推進

第2次渋川市生涯学習推進計画は、「ふるさと渋川を愛する人づくりのための生涯学習活動の推進」を基本理念として掲げ、「生涯にわたる学びの実現(学ぶ)」、「集いによる人間関係を育む学びの実践(集う)」、「学習成果の地域活用(活かす)」、「地域の特性を活かす学びの創造(創る)」の4つを基本目標としています。基本目標の達成に向けて学習活動を推進することにより、市民一人一人が自己の成長と幸福感を実感しながらさらに生き生きと心豊かな生活を送るとともに、多様な主体が互いの学習成果を発揮し、みんなで考え力を合わせて、より良いまちづくりへ発展していくことを目指します。

1 自ら学ぶ意欲を培う意識啓発と市民参加の促進

(1) 学びを楽しむ風土づくり

しぶかわ市民教育の日事業(しぶかわ市民まなびの日)、生涯学習推進指導者養成事業の実施等を通じ、生涯学習理念の普及啓発と地域社会に主体的に参画する人づくりを推進

(2) 学ぶきっかけをつくる情報発信

市広報のほかホームページ、公式SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)等デジタルを活用し、適時性・利便性を重視

(3) 学びを広げる支援体制

ア 相談体制の充実とコーディネート機能の強化

イ 地域人材の力を生かす生き生き楽習の推進

ウ 社会教育関係団体や社会教育委員会、生涯学習推進協議会などと連携し、市民の課題解決能力の発揮を支援

エ 庁内関係所属等との連携による出前講座の充実と学習機会の提供

(4) 「やりがい」と「負担軽減」を観点に、会議手法等を再考

市民により組織される生涯学習関係会議や関連取組は、参加者のやりがいや意向を尊重しつつ負担軽減を図るため、実施手法等を再考

◆指標

指標名	基準 (R5年度)	実績値 (R7年度)	目標値 (R8年度)	目標値 (R10年度)
指導者養成講座延べ 修了者数	67人	69人	69人 受講期間2年	87人
出前講座開催回数	39回	61回 R8.2.28現在	70回	80回

2 文化・芸術に親しむ機会の充実と活動の振興

(1) 活動の振興と担い手育成

- ア 市民総合文化祭の開催を通して、市民の文化芸術活動を振興
- イ 文化協会や子ども歌舞伎等、文化・芸術団体の活動を支援するとともに、担い手育成の取組を推進

(2) 特色ある文化事業の継続

本市の特色ある文化事業を継続し、文化・芸術を身近に触れる体験、鑑賞機会を提供

- ア 第26回しぶかわ能
- イ 第32回渋川バンドフェスティバル
- ウ 第32回全国創作こけし美術展in渋川
- エ 第33回三国脇往還白井宿彌酔の句会

(3) 文化を大切に作る心の育成

庁内関係所属や文化協会等と連携し、様々な機会を捉えて文化・芸術活動の魅力を伝え、文化を大切に作る心を育成

◆指標

指標名	基準 (R 5年度)	実績値 (R 7年度)	目標値 (R 8年度)	目標値 (R 10年度)
市民総合文化祭参加 団体数	146団体	135団体	150団体	168団体

3 青少年健全育成の推進

(1) 市民及び地域との協働による安全安心な環境づくりと健全育成

- ア 青少年の非行防止や犯罪被害抑止に向けた取組
 - (ア) 補導員を中心とした定期的な見守り・補導活動の継続
 - (イ) 青少年育成推進員を中心とした「おぜのかみさま県民運動」の啓発及び環境浄化活動等の継続
 - (ウ) 地域協力者による「こども安全協力の家」の維持
- イ 豊かな心を育む体験機会の提供及びつながりづくり
関係団体の活動支援や多様な主体との連携等を通じて、様々な体験機会の提供及び、地域のつながりづくりを推進

(2) 利用者に寄り添う相談活動の実施

青少年や保護者の悩みの解決に向け、面接、電話、電子メール、LINEによる多様な相談体制の周知及び相談活動の実施

(3) 自立した大人への成長、社会参加意識を促す機会の提供

- ア 少年の主張大会の開催
- イ 市内各所属が行う高校生連携事業の推進
- ウ はたちを祝う会の開催と新はたち当事者による運営委員会支援

(4) 安心して自主学習できる青少年自習室の提供

- ア 高校生の放課後自習室（すたでいばんく）の管理運営と利用当事者による運営委員会支援
- イ 学生みんなの自習室（インすたでいほーる）の管理運営

(5) 家庭教育の支援

- ア 家庭教育力の向上を目指し、各小中学校が保護者等を対象として行う家庭教育学習会等開催経費の一部を助成
- イ 関係団体と連携し、家庭での対話やルールづくりなど家庭教育の重要性についての意識啓発

4 学校を核とした地域づくりの推進

(1) 地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員の配置

コミュニティ・スクールを導入した学校区全てに地域学校協働活動推進員を配置し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進

(2) 地域人材による放課後子ども教室の実施

全小学校において放課後子ども教室を実施し、地域人材が自らの学習成果を生かして指導者となり子どもたちに多様な体験・活動の機会を提供

(3) 部活動の地域展開に向けた気運醸成

部活動の段階的な地域展開に向けて関係機関等と連携しながら、地域の活動団体から賛同を得られるよう気運を醸成

◆指標

指標名	基準 (R 5年度)	実績値 (R 7年度)	目標値 (R 8年度)	目標値 (R 10年度)
地域学校協働活動推進員の委嘱人数	9人	22人	23人	23人

5 共生社会実現に向けた人権教育の推進

(1) 人権教育推進協議会と連携し、人権教育・啓発を推進

偏見や差別を解消し、多様性を認め互いに尊重することができる共生社会を築くため、人権教育推進協議会と連携し、様々な人権問題に対する正しい理解と認識を深める人権教育及び啓発事業を実施

- ア 学校・園教職員を対象とした「人権問題の映画と講話の会」

- イ 市民や職員等を対象とした「人権教育講演会」
- ウ 児童・生徒を対象とした「人権尊重ポスターコンクール」
- エ 市広報紙等による人権尊重意識の啓発

(2) 教育集会所の活動支援と維持

人権教育や地域交流を行う教育集会所の活動支援と、施設の維持管理

◆指標

指標名	基準 (R 5 年度)	実績値 (R 7 年度)	目標値 (R 8 年度)	目標値 (R 10 年度)
人権尊重ポスター応募率 (対象：市内小学校 6 年生及び中学校 2 年生)	74.9%	68.7%	80.1%	85.2%

6 公民館活動の推進

公民館では、第 3 期渋川市教育振興大綱（令和 5 年 2 月）で掲げる基本方針（「家族を大切にし、ふるさと渋川を愛する心の育成」、「生涯にわたる学びと地域文化の振興」、「子どもたちが生き生きと健やかに育つまちづくりの推進」）や、第 2 次渋川市生涯学習推進計画（平成 30 年 2 月）で定める 4 つの基本目標（学ぶ、集う、活かす、創る）等に基づき、地域の特性を踏まえながら、多世代にわたる学習の支援を行っています。

令和 8 年度は、主要 5 事業（高齢者学級、家庭教育支援学級、成人学級、青少年学級、世代間交流事業）はもとより、子ども達の健全育成の強化に向け、サードプレイスの構築に努め、より参加しやすい事業の実施や居場所づくりを推進します。

(1) 郷土を愛する人づくりと地域づくり

生まれ育った地域の伝統・文化の学びを通じ、ふるさと渋川への愛着と誇りを持てる人づくり、地域づくりに努めるとともに、地域間交流の拡大や世代間交流を推進

(2) コミュニティ・スクールとの連携、協働

ア 公民館が地域と学校を「つなぐ」重要な接点となり、地域ぐるみで子ども達を育成できるよう、コミュニティ・スクールとの連携、協働を積極的に推進

イ 小中学校の長期休業日見直しにより増加する夏期休業日に対応し、児童生徒に対する居場所づくりを推進

(3) 効果的な施設運営

防災や子育て支援等、様々な行政需要に対応できる地域の拠点施設として、地域特性に適合した取組を実施

また、老朽化が進む施設や設備については、計画的に修繕を図り、子どもから高齢者まで、より大勢の市民が集い、活動できる良好な環境づくりを実施

◆指標

指標名	基準 (R 5年度)	実績値 (R 7年度)	目標値 (R 8年度)	目標値 (R 10年度)
公民館利用者数 (公民館概要による)	211,530人	162,357人 R7.12.31現在	267,000人	304,000人

7 図書館運営の推進

市民が生涯にわたって読書に親しみ、本に触れられる環境整備や市民の多様な学習活動を支援し、市民にとって身近で魅力ある図書館を目指し、幅広い世代に向けたサービスを提供します。

(1) 親子で楽しめるおはなし会や子ども映画会、作家講演会等の催しを通じた来館促進と多種多様な資料の収集・提供

絵本の楽しさやおすすめ本の紹介等を黒川子ども文庫での読み聞かせにより、気軽に来館できる環境を整備

(2) 図書館と公民館図書室のネットワーク上にある図書館管理システムで管理している資料の相互利用を促進

インターネット経由した図書の予約や貸出延長、新着案内のメール配信等を活用したサービスの周知と利用の促進

(3) 読書バリアフリーを推進するため大活字本やLLブック、朗読CD等の資料収集や来館困難者への資料配送サービス等により、共生社会実現に向けた取組を継続

(4) 一人一人の赤ちゃんに読み聞かせをして絵本を手渡すブックスタート事業を継続し、親子で本に触れるきっかけを作り、豊かな心を育む読書活動を推進

(5) 図書館司書による学校訪問や学校図書館事務補助員等の研修を通して、図書館と学校図書館が連携をし、子どもの読書活動を推進

(6) 地域で活動している読み聞かせボランティア等を対象にした講座等を通して読み聞かせボランティア間の連携と活動を支援

- (7) 学校教育や社会教育等における視聴覚教育の振興と視聴覚ライブラリーの利用促進

◆指標

指標名	基準 (R 5 年度)	実績値 (R 7 年度)	目標値 (R 8 年度)	目標値 (R 10年度)
資料貸出人数	101,089人	74,131人 R7.12.31現在	104,000人	111,000人

8 美術館事業の推進

美術館は、「つながり ひろがる あおぞら美術館」のコンセプトの下、芸術文化活動の拠点として、企画展やワークショップ等の充実を図り、市民等に芸術に触れる機会を提供し、魅力あるまちづくりを推進します。

- (1) 様々な分野の美術作品を鑑賞する機会を提供するため、現代美術作家展、収蔵作品展等の企画展の開催
- (2) 教育機関や渋川美術協会等と連携した、共催展の開催
- (3) 教育普及事業として、美術への興味を深め、豊かな想像力を育成するワークショップの開催及び作品の展示
- (4) 小中学生対象の市内4館をめぐるスタンプラリーや、美術館コンサート等の実施
- (5) 文化的価値のある美術品や資料の収集及び専門的・技術的な調査研究
- (6) 渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館運営協議会の運営

◆指標

指標名	基準 (R 5 年度)	実績値 (R 7 年度)	目標値 (R 8 年度)	目標値 (R 10年度)
美術館企画展示室 入場者数	R6.3.3～ 1,464人	5,597人 R7.12.31現在	10,000人	12,000人

9 文学館事業の推進

市民をはじめ多くの来館者が心の豊かさを享受できるように、ふるさと渋川への愛着と誇りの醸成と文化の薫り高い地域づくりに貢献する施設としていくことを「徳富蘆花記念文学館」の目的として、新しい生活様式に配慮し

ながら以下の事業を進めます。

- (1) 明治の文豪「徳富蘆花」終焉の間（蘆花記念会館）の保存と公開
- (2) 徳富蘆花に関わる資料の保管と展示
- (3) 群馬県立土屋文明記念文学館と協働した移動展を開催
- (4) 収蔵品を活用した来館者が楽しく学べる企画展の開催
- (5) 徳富蘆花を偲ぶお茶会と小学生を対象とした茶道体験教室を開催
- (6) 小、中学生から高齢者まで生涯を通じた幅広い世代への学習機会の提供及びその周知活動の実施
- (7) 小中学生対象の市内4館をめぐるスタンプラリーの連携
- (8) ホームページ等の電子媒体を活用した施設内外の近況や蘆花に関する文学情報の発信
- (9) 収蔵資料の全数点検整理及び閲覧環境の充実

◆指標

指標名	基準 (R 5年度)	実績値 (R 7年度)	目標値 (R 8年度)	目標値 (R 10年度)
文学館入館者数	4,940人	3,605人 R8.2.28現在	5,000人	6,000人

基本方針Ⅲ 文化財の保護と活用

先人が築き、守り、受け継いできた市民共有の財産である各種文化財の保護を図るとともに、地域に伝わる郷土芸能や伝統文化の保存・継承活動の支援の充実を図ります。市民文化の向上と魅力ある地域社会の形成に寄与するため、郷土の文化財の活用及び情報発信を進め、文化財保護への理解の促進に努めます。

1 文化財の保存・管理の推進

- (1) 市内に所在する文化財の把握・調査・研究及び資料整備の推進
- (2) 指定文化財等の定期的なパトロールと適切な保存・管理の推進
- (3) 埋蔵文化財の発掘調査と資料整理、適切な保存措置の推進
- (4) ヒメギフチョウの保護のための調査・研究と生息域環境整備等の推進、県との連携強化

2 文化財の活用と整備の推進

- (1) 国史跡等の学術的調査・研究と、保存・整備の推進
- (2) 金井東裏遺跡・黒井峯遺跡をはじめとする榛名山噴火関連遺跡に係る講演会・展示会・現地見学会・出前講座等による情報発信及び群馬県との連携
- (3) 市内の文化財や遺跡の見学会、講座等による情報発信
- (4) 新しい生活様式に配慮した学校教育・生涯学習における歴史・民俗資料の活用及び歴史資料館を活用した体験学習活動の推進
- (5) 歴史資料館及び市内に点在する収蔵庫の再編統合に向けた検討

◆指標

指標名	基準 (R 5年度)	実績値 (R 7年度)	目標値 (R 8年度)	目標値 (R 10年度)
出前講座実施回数	9回	16回	16回	18回

3 伝統文化の保存・継承活動の支援

- (1) 伝統芸能、伝統文化の保存・活用・発表活動・設備等修繕に対する補助金交付等による支援

- (2) 後継者育成及び伝承活動への民間助成金や学習機会等の情報提供及び助言
- (3) 伝承活動団体への学習・活動等機会の情報提供

◆指標

指標名	基準 (R 5年度)	実績値 (R 7年度)	目標値 (R 8年度)	目標値 (R 10年度)
伝承活動団体への補助金交付件数	16件	16件	16件	16件

4 自主活動団体の育成・支援

- (1) ボランティア団体や文化財関係団体への情報提供等による支援
- (2) 歴史資料館等を活用し、自主活動団体と連携事業の実施
- (3) 新しい生活様式をふまえた活動内容等の支援

◆指標

指標名	基準 (R 5年度)	実績値 (R 7年度)	目標値 (R 8年度)	目標値 (R 10年度)
自主活動団体実施の体験教室等件数	20件	20件	20件	20件

基本方針Ⅳ スポーツと健康づくりの推進

令和4年度策定の第2期渋川市スポーツ推進計画では、「一市民一スポーツ」「生活の中に運動を」を基本理念として掲げ、「市民の健康づくりの推進と子どものスポーツ機会の充実」「スポーツによる交流機会の創出」「地域で育むスポーツ文化の構築」の3つを基本目標としています。基本目標の達成に向けて、市民一人ひとりがスポーツを通じて生きがいを感じ、健やかで活力ある地域社会を実現できるようスポーツ関係団体と連携し、各種イベントや大会の開催を通じて市内全域にスポーツの機会を創出し、スポーツ施策を総合的に推進します。

また、令和11年度に開催される第83回国民スポーツ大会に向けて、会場整備や運営体制の構築等、計画的な準備を進めるとともに、大会を契機としたスポーツ振興と地域活性化につなげます。

さらに、スポーツ施設については、将来的な利用需要を見通し、老朽化が進む施設の計画的な改修及び長寿命化を図るとともに、施設のあり方について、市全体で総合的な調整を図り、適正化による持続可能な施設の運営を推進します。

1 子どものスポーツ機会の充実と体力の向上

学校、渋川市スポーツ協会、渋川市スポーツ少年団、しぶかわスポーツクラブ、地域スポーツ団体等との連携により、すべての子どもたちがスポーツを楽しむことができる環境の整備を推進し、体力の向上を図ります。

(1) スポーツ機会の確保

- ア スポーツ少年団の活動推進及び入団促進
- イ デジタル技術を活用し、複合的にスポーツが楽しめる機会の提供及び紹介
- ウ 親子や家族と一緒に参加できるスポーツ教室や体験イベントの開催

(2) 中学校部活動地域展開の支援及び推進

- ア 中学校運動部活動への外部指導者派遣
- イ 指導者の育成及び確保
- ウ スポーツ関係団体との連携による安全で持続可能な活動体制の構築
- エ 地域展開実施団体への情報提供

2 市民一人ひとりのスポーツ機会の創出と健康増進

スポーツ基本法でスポーツの目標として定められている「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進」を推進するため、スポーツの「楽しさ」や「喜び」を広く周知するとともに、スポーツ機会を創出することで市民の健康増進を図ります。

(1) 市民の健康増進と健康寿命の延伸

- ア しぶかわスポーツクラブ等との連携によるスポーツ教室の開催
- イ 地域ラジオ体操会、ラジオ体操講習会の開催
- ウ スポーツ施設の利用促進
- エ スポーツや健康に関する情報発信

(2) 地域 住民の世代間交流の向上

- ア 地域の運動会の開催
- イ 市民スポーツ祭等の各種スポーツ大会や教室の開催

3 競技スポーツの推進・競技力の向上

渋川市スポーツ協会等のスポーツ団体を育成・支援するとともに、県内のプロスポーツチームや本市出身等のスポーツ選手を活用し、本市におけるスポーツ振興を図ります。

(1) 全国規模及び県民スポーツ大会出場者数の向上及び支援

- ア 国民スポーツ大会、全国大会等出場者の壮行会開催及び支援
- イ 県民スポーツ大会出場渋川市選手団の支援
- ウ 全国大会、世界大会出場者への顕彰
- エ 県内プロスポーツチーム、本市出身等のスポーツ選手との連携

(2) 渋川市スポーツ協会等の自立したスポーツ団体運営の促進

- ア 各種大会等の開催による各競技種目への市民参加の拡大
- イ スポーツ団体の活動場所の確保
- ウ 次世代アスリートの発掘及び育成体制整備の支援

(3) 指導者の育成と競技力向上対策

- ア 指導者研修会や講習会の開催
- イ 指導者資格取得のための情報提供及び支援

4 スポーツ環境の整備

市民のスポーツ活動体制及びスポーツ指導体制の充実を図り、「する」「みる」「ささえる」等の様々な形態でスポーツに関わることで、市民が互いに支え合う「スポーツ文化」を推進します。

また、身近なスポーツ活動の場を提供するため、スポーツ施設の長寿命化、安全性の確保及び利便性の向上を図ります。

(1) スポーツ実施率向上及び地域コミュニティの充実

- ア スポーツ推進委員活動の拡充
- イ 指導者の養成及び各種研修会、講習会の開催
- ウ しぶかわスポーツクラブ、スポーツ推進委員、指導者等の情報交換及び意見交換ができる体制づくり
- エ 市民スポーツ祭の開催による「一市民一スポーツ」の実現

(2) スポーツ活動の場の確保

- ア スポーツ施設の長寿命化、安全性等の確保及び利便性の向上
- イ 指定管理者による効率的な施設管理及び運営
- ウ 施設の適正化による持続可能な施設管理及び運営
- エ 施設のネーミングライツ導入による施設維持管理費の確保

5 スポーツによる交流機会の創出

大規模スポーツ大会、イベント、合宿等の誘致や国民スポーツ大会の開催を通じて、スポーツによる交流機会を創出します。

(1) スポーツによる交流人口の拡大

- ア 大規模スポーツ大会、イベント、合宿等の誘致
- イ 県内外のクラブチーム、スポーツ少年団等の競技交流
- ウ プロスポーツや本市出身のスポーツ選手による教室、イベントの開催
- エ 観光と連携した健康スポーツの展開

(2) 第83回国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催

全国から参加者や関係者が集まる大会を通じて、地域の活性化を図ります。

- ア 開催年度 令和11年度
- イ 本市開催種目（種目・会場）

(ア) 正式競技

- ・軟式野球（成年男子・渋川市総合公園野球場）
- ・ソフトボール（成年男子・木暮組スポーツパーク赤城（渋川市赤城総合運動自然公園））
- ・ゴルフ（成年男子・赤城ゴルフ倶楽部）

(イ) 公開競技

- ・パワーリフティング（全種目・渋川市伊香保体育館）

(ウ) デモンストレーション競技

- ・マレットゴルフ（渋川市赤城敷島マレットゴルフ場）